



2023年8月10日

各位

会社名	日東精工株式会社
代表者名	代表取締役社長 荒賀 誠
(コード)	: 5957、東証プライム市場)
問合せ先	取締役財務戦略本部長 松本 真一
(TEL.)	0773-42-3111)

イーセップ株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、2023年8月10日開催の取締役会において、イーセップ株式会社（以下「イーセップ」といいます。）との間で、業務提携を行うことを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

【業務提携の概要】

1. 業務提携の理由、目的及び内容

当社は、『世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューショングループ」を目指す』を掲げた経営ビジョンのもと、今年度からスタートした新中期経営計画「Mission G-second」では「4つの成長戦略（事業拡大・環境・人材・財務）で持続可能なグループへ」を戦略テーマとし、ステークホルダーからの高い信頼と期待に応える企業を目指しています。

それらテーマのうち、環境戦略では事業活動すべてにおける環境への対応機会として、お客様のCO2削減へ繋がる環境対応製品の開発を手掛けています。

深刻化する地球温暖化は主に二酸化炭素の過排出が原因とされ、これまで有機溶剤を用いるリサイクル市場では大量のエネルギーを使用してCO2を排出していましたが、無機分離膜を用いた分離方法に置き換えることでCO2削減に大きく貢献できることに着目しました。今回の業務提携先であるイーセップが有するナノセラミック分離膜技術と当社が長年、各種プラント設備や食品・薬品メーカーの製造設備において防爆バッチカウンタや各種防爆型流量計で培った防爆技術、及び流体制御技術を融合させた製品を実用化することで有機溶剤リサイクル市場が抱える課題解決に貢献することが期待できます。

本業務提携により、当社制御システム事業部門、及び生産技術・研究開発部門とイーセップで連携強化を図り、有機溶剤リサイクルの事業化を加速させ、カーボン・ニュートラル社会の実現を目指してまいります。

2. 業務提携の内容等

(1) 業務提携の内容

当社とイーセップとの間で「有機溶剤リサイクルの事業化の推進（有機溶剤リサイクル回収装置の開発）」に関する業務提携の契約を締結しました。

(2) 期待される効果

- ① 両者の強みを活かした新製品開発による新事業の創出
- ② リサイクル市場の CO2 排出削減によるカーボン・ニュートラル社会実現への貢献
- ③ 京都から世界へ向けたカーボン・ニュートラルに貢献するモノづくりの発信

3. 本業務提携の相手先の概要

(1) 名称	イーセップ株式会社	
(2) 所在地	京都府相楽郡精華町精華台七丁目5番地1 けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK)	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 澤村 健一	
(4) 事業内容	ナノセラミック分離膜技術の開発およびその関連機器・システム等の提供	
(5) 資本金	2億2300万円(2022年10月1日現在)	
(6) 設立年月日	2013年10月1日	
(7) 従業員数	26名(2022年10月1日現在)	
(8) 大株主及び持株比率 (2023年5月25日時点)	株式会社 Global Research Express 58.2% Mitsui Kinzoku-SBI Material Innovation Fund 6.2% 中信ベンチャー・投資ファンド4号投資事業有限責任組合 5.8% 澤村健一 5.4% 三菱UFJキャピタル6号投資事業有限責任組合 5.4% その他11名 19.0%	
(9) 上場会社と当該会社 との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません
	関連当事者への関連 事項	該当事項はありません

(注) 経営成績及び財政状態については、相手方の意向により非開示としております。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2023年8月10日
(2) 契約締結日	2023年8月10日
(3) 業務提携開始日	2023年8月11日

5. 今後の見通し

今回の業務提携については新たな事業や共同開発を通じて事業領域の拡大を図り、中長期的な企業価値最大化に向けて取り組むものでありますが、本業務提携が当社の当期連結業績に与える影響は軽微であると考えています。

今後、本提携の具体的な進捗に応じて業績に影響を与えることが判明した場合には、速やかに公表いたします。

以上